

プロジェクト演習C

さいたま市地域ICTリーダー 養成業務補助システム開発プロジェクト

メンバー：

- ・内田 祐斗
- ・玉井 睦己
- ・小林 凱翔
- ・半田 悠翔
- ・鷺田 陸来
- ・稲子 天翔

制作の背景

クライアント想定：

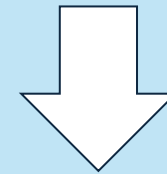
さいたま市デジタル改革推進部

対応する社会課題

デジタルデバイド

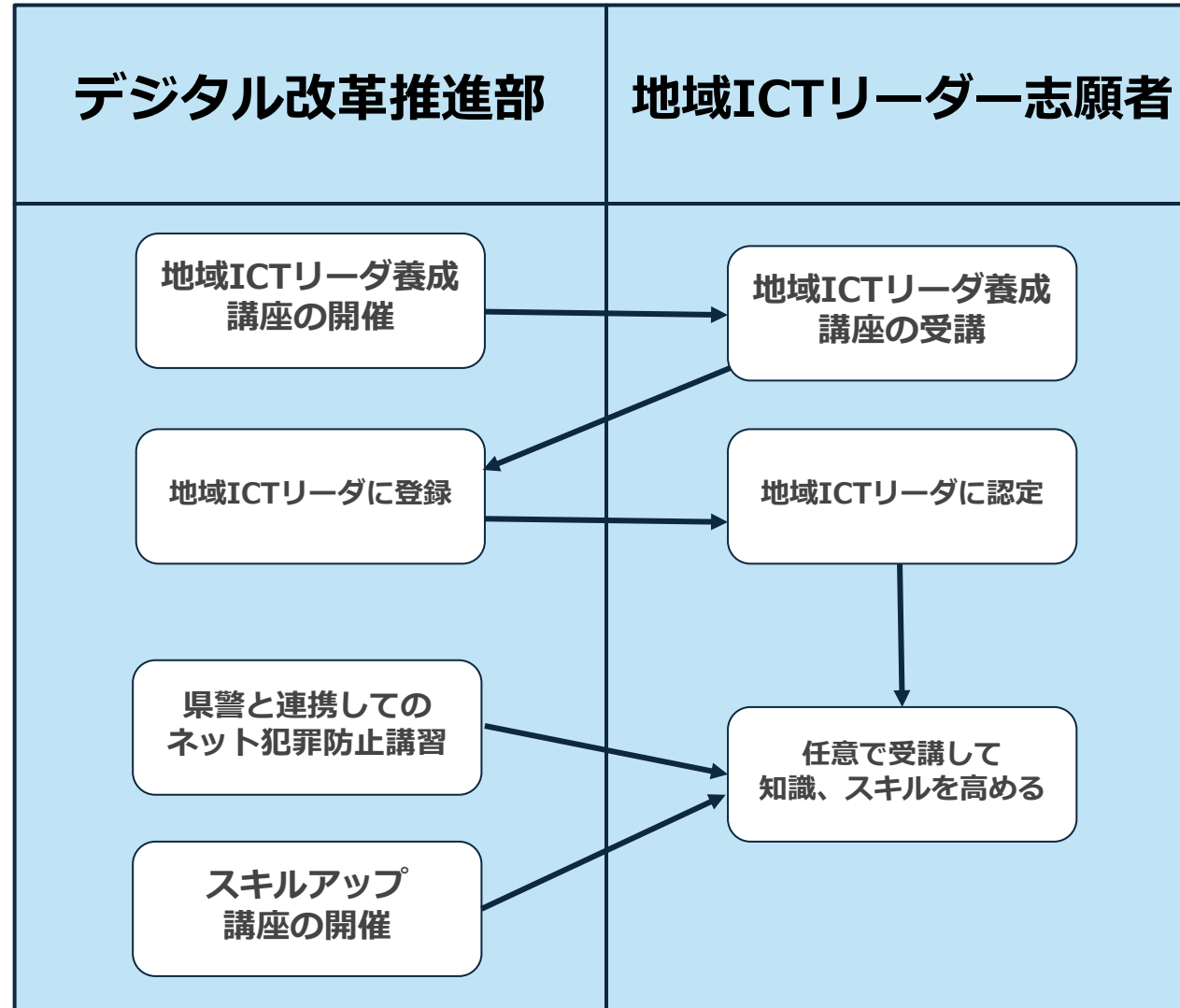
さいたま市のICT技術に対する方針：

さいたま市はsociety 5.0の実現を目指し様々な取り組みを行っている。

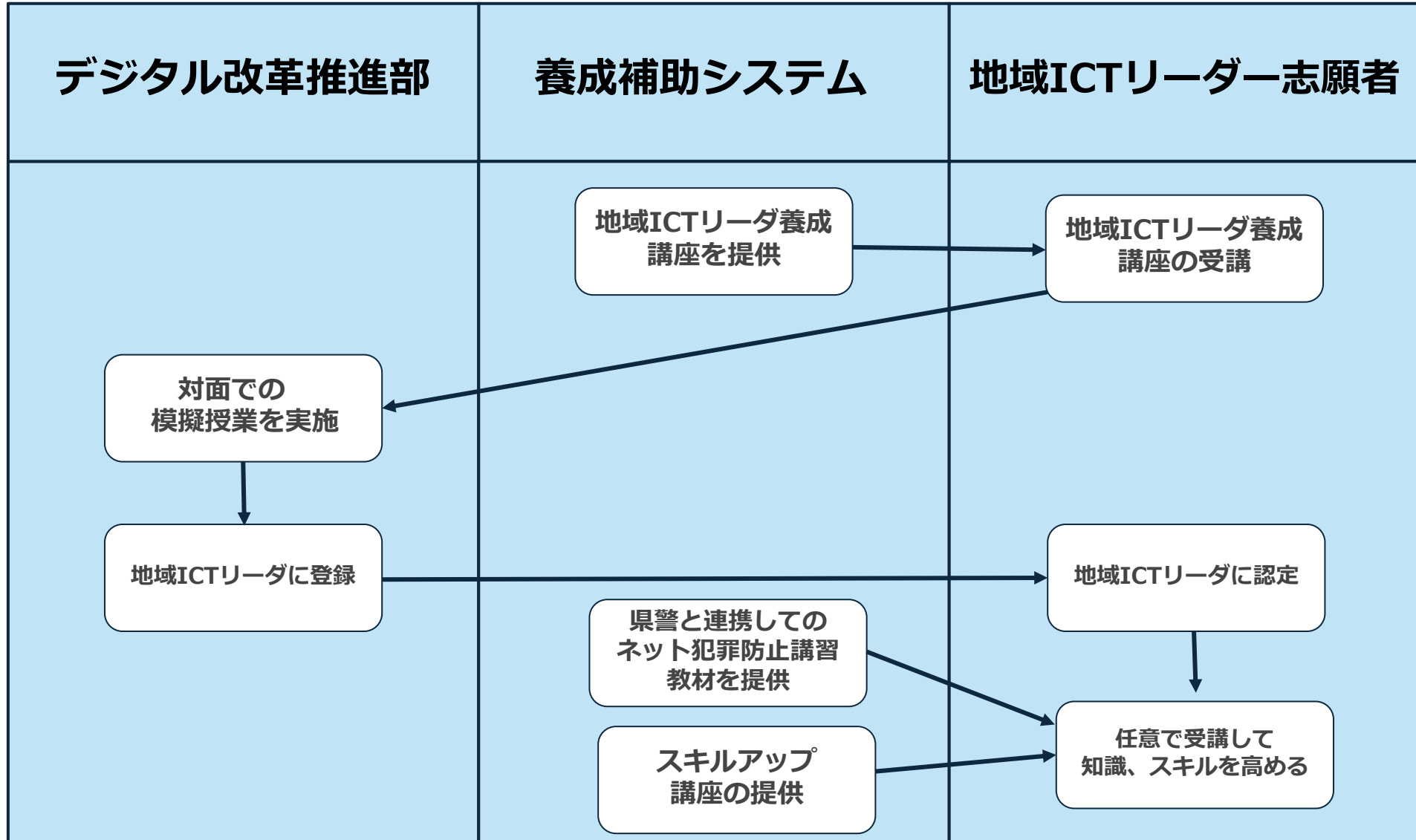


市が開催している講座を受講することで誰でも認定される地域ICTリーダによる養成業務注目

業務フロー図



業務フロー図

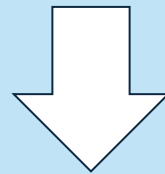


プロジェクトの背景

地域ICTリーダーの養成における課題：

2024年7月までの養成講座修了者数が1315人に対して、ICTリーダーの人数は228人しかおらずICTリーダーに志願する人は全体の約15%となっている。

(出典：デジタルクロス・さいたま市、「選ばれる都市」に向けDXで市民の生活の質を高める
URL : <https://dcross.impress.co.jp/docs/usecase/003701-2.html>)

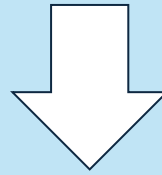


修了者数を増やすことでデジタルに強い市民を増加させ、ICTリーダー志願者の増加も見込める。

プロジェクトの背景

地域ICTリーダーの養成講座の現状：

養成講座が市内数か所ですら開催されておらず、開催数も年に2,3回程と少ない。



この背景として一度の講座参加者数が多く見込まれないこととそれに対する開催コストが原因として考えられるが、これが要因で実施会場近郊に住んでいない市民の参加が難しく、現状の参加人数が少ないものとなっている。

プロジェクトについて

プロジェクト内容：

地域ICTリーダーに求められる知識を
オンデマンド方式で提供するシステムの開発

利用場面想定：

自宅等での個人利用

利用者想定：

- ・地域ICTリーダー志願者

主要機能：

- ・オンデマンド授業配信
- ・内容確認クイズ
- ・質問投稿フォーム
- ・対面講座会場の紹介

主要機能について

・ オンデマンド授業機能

- ・ 対面講座で扱っている内容をオンライン形式で配信
- ・ 自宅からでもICTリーダー養成講座を受講することが可能になることで場所の確保や時間といった物理的な制約を解消を行う。

・ 内容確認クイズ

- ・ 閲覧した講座の内容をクイズ形式で確認する機能
- ・ リラックスできる空間で受講できる分、内容の定着がおろそかになる可能性があるため講座の内容理解度を確認し定着させる。

・ 質問投稿フォーム

- ・ 講座内で疑問点や質問を記入し、送信する機能
- ・ 非対面での講座受講の為、質問を直接することができないことを補う

・ 講座会場紹介ページ

- ・ 対面方式での養成講座、及び認定講座開催会場の紹介
- ・ 利用者の生活地域から一番近い会場と講座の開催日程を表示することで足を運びやすくする。

プロジェクトの目的・目標

目的:

- ・多くの人が養成講座を受講できるようにすること。

目標:

- ・地域ICTリーダーの増加

システム概観図

